

## METライブビューイング 2024-25 《フィガロの結婚》

## 俳優・海宝直人 登壇

## トークイベント付き上映会 開催レポート

平素より大変お世話になっております。

ニューヨーク・メトロポリタン歌劇場(通称:MET(メト))の世界最高峰の最新オペラ公演を大スクリーンで楽しむMETライブビューイング。現在、2024-25 シーズンが絶賛“開演”中。第6作目には、笑って泣ける幸福度120%の喜劇オペラの最高峰、モーツァルト《フィガロの結婚》が、6月5日(木)まで全国の映画館にて上映中です。(※東劇のみ6/12(木)までの2週上映)理髪師フィガロの結婚当日の恋と仕返しをめぐるドタバタ喜劇で、廻り舞台を活用したクラシカルでゴージャスな人気のプロダクションと、新進気鋭の若手指揮者&今をときめく歌手陣で贈る名舞台となっている。

本日、東劇で開催された MET ライブビューイング 2024-25《フィガロの結婚》のスペシャルトークイベントに俳優の海宝直人さんが登壇した。『ライオンキング』や『レ・ミゼラブル』『アナスタシア』『ミス・サイゴン』など人気舞台に出演し、舞台やヴォーカリストとしての音楽活動の他、映画『リトル・マーメイド』『ウィキッド ふたりの魔女』といった話題作の日本語吹替キャストを務めるなど、幅広い分野で活躍している海宝直人さん。そんな海宝さんのトークイベントということもあり、多くのファンが来場し会場が熱気に包まれた。

実際にニューヨークのメトロポリタン歌劇場に訪れたことがあり、『ライオンキング』の演出家ジュリー・テイモア演出の《魔笛》について「熱量も高く活気がある雰囲気、『ライオンキング』に通じるパペットなども楽しめた」とエピソードを語り、トークが始まった。

音楽劇『ダ・ポンテ～モーツァルトの影に隠れたもう一人の天才～』でダ・ポンテ役を演じた海宝さんは、今作の台本作家ダ・ポンテの印象について、「とてもツイていない、すごく不運な人。でもコンプレックスを抱えながらも喝采を浴びることをエネルギーにしており、ドラマチックで数奇な人生を生きただけの人。良いタイミングを逃しながらも、イタリアやオペラについての愛に溢れている人物で、愛すべき人物だったんだろう。」と熱く語った。今回の《フィガロの結婚》での印象に残ったシーンは？という質問には、「セットが回転しながら、登場人物にフォーカスしていくオープニングからすごく引き込まれた。」と廻り舞台を活用した演出に感激した様子。歌手陣については、「始点が聴こえないまま、天井から歌声が降ってくる様な歌声はどうやって出しているんだろうと、家でも練習した(笑)。」と、伯爵夫人役のフェデリカ・ロンバルディが歌うアリアに感動した様子で、真似をして歌声も披露した。また、「オペラは生の歌声なので、最後まで音を出し続けないと聴こえなくなってしまう。演出でも、色んな解釈があるところもオペラの魅力。」と語り、「演者の表情や仕草を間近で観られ、幕間のインタビューや舞台転換が観られるのはライブビューイングの魅力。」とMETライブビューイングについても語った。フォトセッションでも会場のファンにこやかに手を振り、トークイベントは終了となった。

MET ライブビューイング 2024-25 《フィガロの結婚》

6/5(金)まで東劇・新宿ピカデリーほか全国にて公開中！※東劇のみ6/12(木)まで

■宣伝お問い合わせ:松竹海外事業部グローバルコンテンツ室 齋藤(万)/細郷  
直通 TEL:03-6260-4254 Mail:mayuko\_saito@shochiku.co.jp